

旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
2026年2月1日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖歌499「御位を降り」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌632「なおも御恵みを」	一 同
教会学校	絵本「ファーマーさんはみすてない」	牧 師
讃 美	聖歌642「望みも消えゆく迄に」	一 同
聖書朗読	イザヤ42:1-4	
奨 励	イザヤ書の福音(第14回)	牧 師
主 題	「新しき歌を主に」	
讃 美	聖歌196「驚くばかりの」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	イザヤ書第43章	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意しておりますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

- 2/1(日) 聖日礼拝
- /2(月)
- /3(火)
- /4(水)
- /5(木) 8:30 OBSチャペル10:聖研
- /6(金) 10-12: OBSカフェ
- /7(土) 13-16子供オブパウス



《エリコのペト・ウイン・テント》

【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

良書ハイライト

「アメイジング・グレイス」

(2021年10月3日付 吉岡利夫さんからの手紙より)

羽田姉から私が入手したいと思っていたアメイジング・グレイスに関する記事とその聖歌詞のプリントの差し入れに感謝し、主にその感謝の祈りを捧げました。と共に、歌詞が分かったので「主よ、アメイジング・グレイスを聴かせてください。英語ではなく、日本語で聴いてみたいです」と祈りました。

先便にも記しましたが、この獄中で自分が好む音楽をラジオやTVで聴くということは困難です。まして特定の「アメイジング・グレイス」となると、まず不可能と言えます。当所のTVの視聴は、平日は夕方6:30～8時55分まで、土・日曜日と祝日は午前9:30分から11:30分まで、夕方は平日と同様です。そしてその他の時間帯はラジオが流れ、FMラジオです。私はバラエティー番組は見ず、旅番組や家族が登場する番組は好きです。で、NHKの「鶴瓶の家族に乾杯」はかならず観ます。

羽田姉宛の手紙の発信提出をした9月6日の月曜日は、7時30分からその「鶴瓶の家族に乾杯」でした。その日は過去に放映したものの中から厳選した感動場面の再放送で、福島県下の中学生の姉妹が「きよしこの夜」をデュエットで歌い始めたのにはマジびっくりしました。そしてその姉妹の家に鶴瓶がついて行き、その子たちの祖母に案内されて家に上がり込んだ鶴瓶の前で、今度はこれまたデュエットで姉妹がアメイジング・グレイスを歌い出したのです。

「きよしこの夜」また「アメイジング・グレイス」はアカペラのデュエットでしたが、マジに聞き惚れました。そしてそれから数年が過ぎ去った2021年、妹さんはギター奏者の道に学び、姉は東京の音大生となっていたのです。音大生の姉がスタジオに登場し、妹さんはリモートでギターを弾き、そしてそして姉によるアメイジング・グレイスの歌声が私の心にひびき渡ったのです。彼女の声量と音質は美しくすばらしく鶴瓶も真顔で目頭を熱くしていました。

視聴者の私はというと、主のミラクルな出来事に、もうビックリを通り越して全身が鳥肌立ちしていました。実は歌は英語でしたが日本語に訳したテロップが画面下に流れていたのです。私の祈りが天に届いたのです。そしてそのテロップに流れた「み恵みが私に恐怖を教え、そのみ恵みが私を恐怖から救ってくれました」に私の魂の琴線は激しく震えました。

…驚くべき恵みー何と胸をときめかせる言葉か！私のような無頼漢をさえ救いたもうたとは！私は道に迷っていたのですが、今や神に見出され、視力を失っていたのですが今や見る事ができます。ジョン・ニュートンというヤクザな男を通して「アメイジング・グレイス」という讃美歌を生み出した神の御業に只々平伏すのです。

「それから、イエスは彼の家で食卓に着かれた。取税人や罪人たちが大ぜい、イエスや弟子たちといっしょに食卓に着いていた。こういう人たちが大ぜいいて、イエスに従っていたのである。」(マルコ2:15)